

表具科

ガッチャガッチャ

はやく回すな
焦げるがいな

かならずしよくにんだいがつこう
金沢職人大学校
の渡り廊下で

だいかん さむい
大寒の寒空の下
もちつき大会のような
にぎやかな場所があった

ガッチャガッチャ

ガッチャ

かんのりだ
寒糊炊き

ぎょうし
という
行事である

ガッチャ

こむぎこ
小麦米分のでんぷんを煮溶かしてる

ひょうふしよくにん
表具職人さん達が
さきよう
作業につかう
しょうふのり
正麩糊をつくって
いるのだ

ふー！
金沢職人大学校
金沢職人大学校
この糊をつかって
どんなんものを
つくるんですか？

とろろ...

学校



わたしら
のようくしよくとん
表具職人はね

この正麩糊をつかって
和紙を下地に
貼り付けるがや

講師の武部正典先生

骨格縛り

胴張り

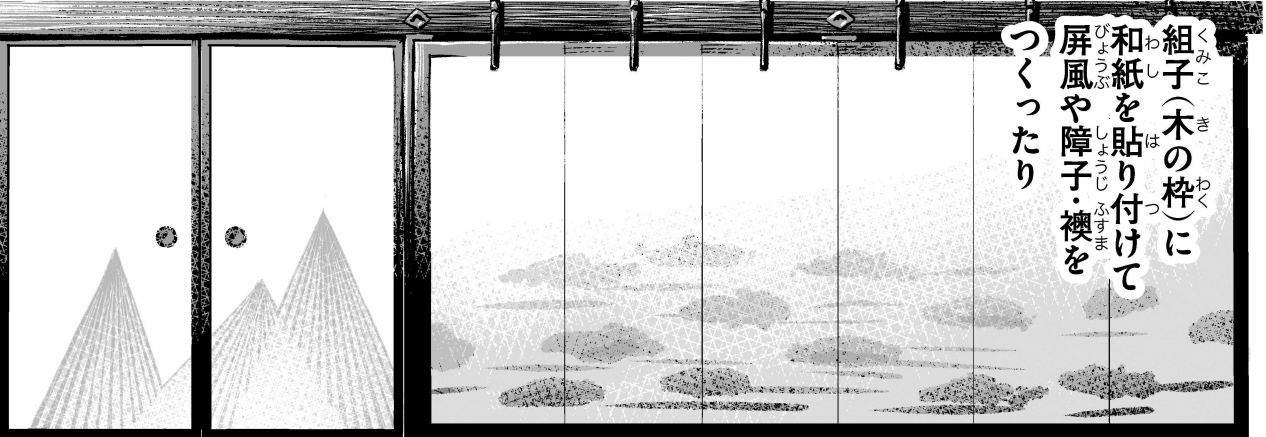
裏張り

裏縛り

浮き張り

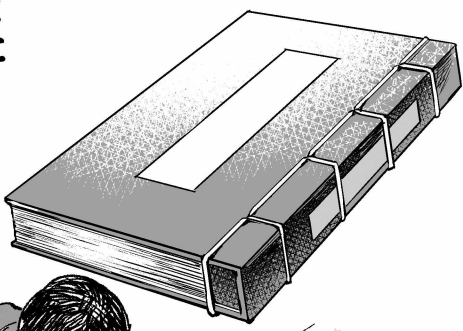
浮き張り

上張り

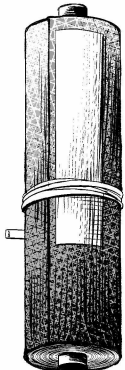


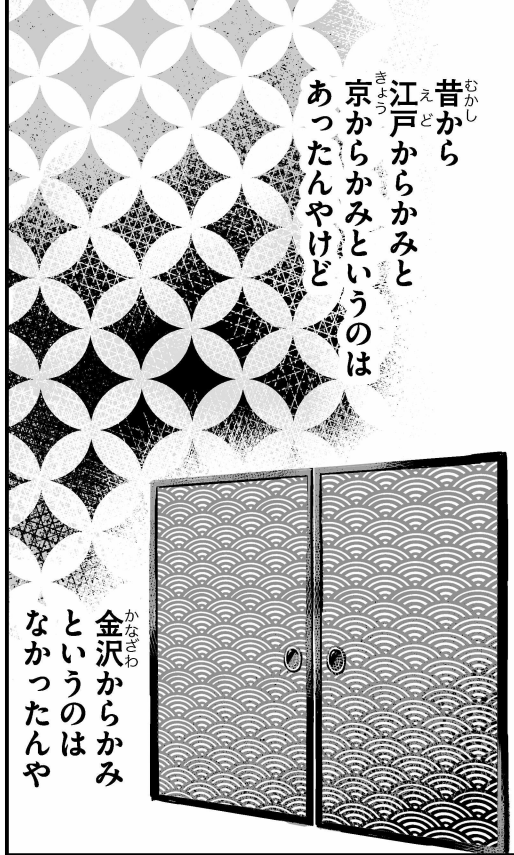
組子(木の枠)に
和紙を貼り付けて
屏風や障子・襖を
つくったり

また
傷んだ表具を
修復したりも
します



和紙を
裂地などと
合わせて
卷子本や掛け軸
和本などをつくったり





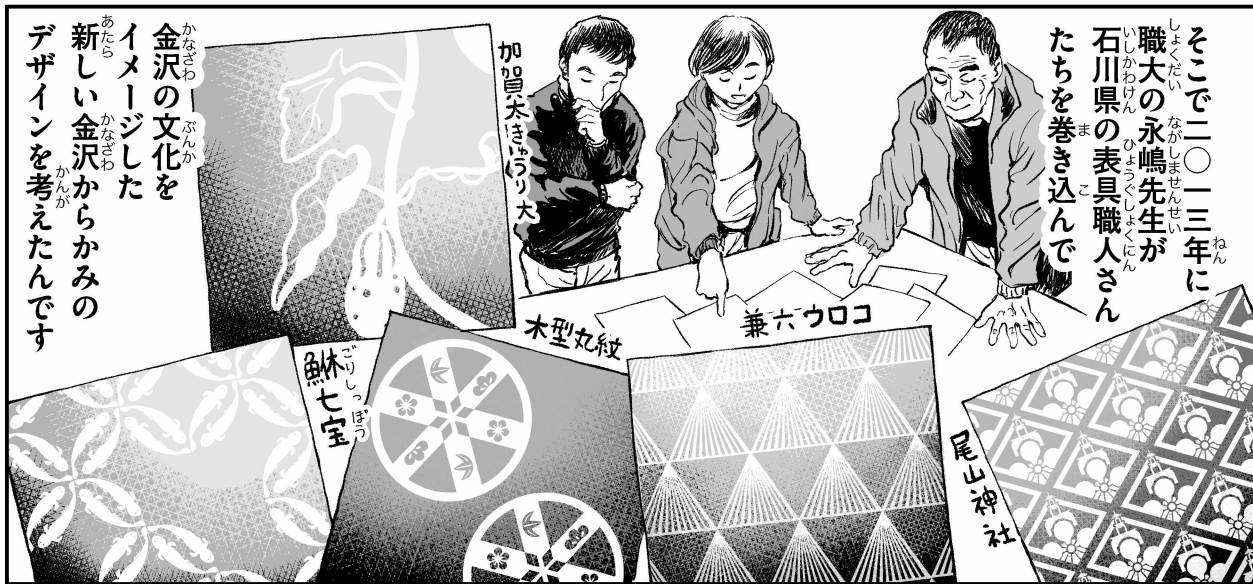
昔から
江戸からかみと
京からかみというのは
あったんやけど

金沢からかみ
というの
なかつたんや



襖や障子の
装飾として張る紙を
からかみと
言うてね

講師 岡田正先生



そこで二〇一三年に
職大の永嶋先生が
石川県の表具職人さん
たちを巻き込んで

加賀太ぼりり大

金沢の文化を
イメージした
新しい金沢からかみの
デザインを考えたいです

魚七宝

木型丸紋

兼六ウロコ

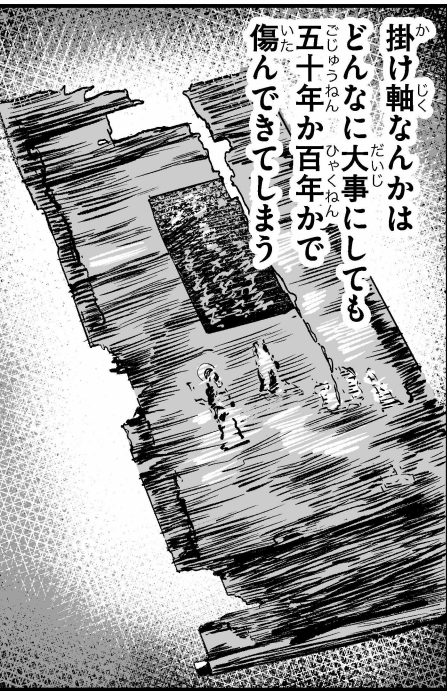
尾山社



建物のなか
ふと壁にかかった屏風や
襖に目をやると
金沢らしさを感じる

あ、
兼六ウロコの
フスマー!

表具というのは
そういう良さも
あるんですよ

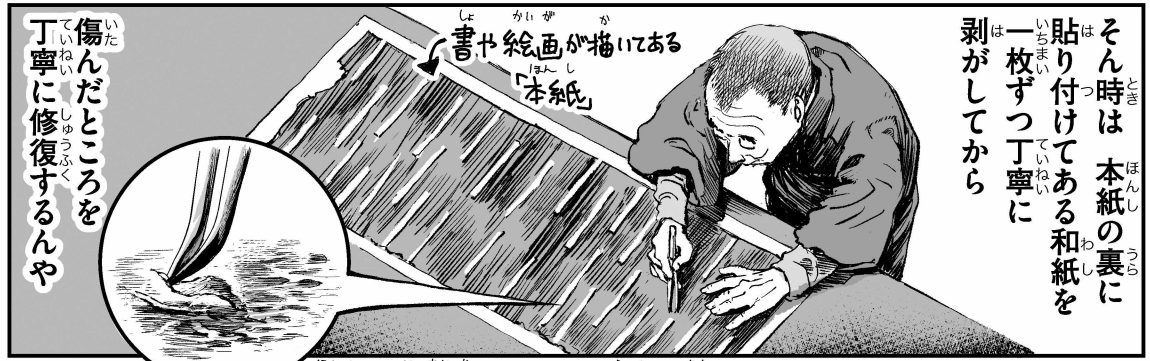


掛け軸なんかは
 どんなに大事にしても
 五十年か百年かで
 傷んできてしまう



表具は
 あとで直すことが
 前提でつくられ
 とるんよ

講師 永嶋明先生



そんなときは 本紙の裏に
 貼り付けてある和紙を
 一枚ずつ丁寧に
 剥がしてから

傷んだところを
 丁寧に修復するんや

本紙と一体化してしまった和紙の繊維をはがしていく



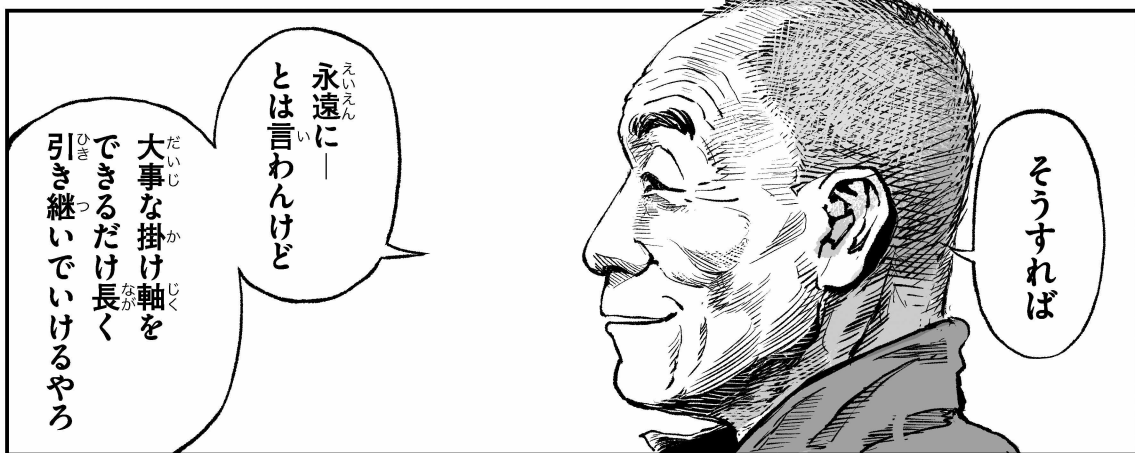
そんなでまた
 本紙の裏に
 和紙をはるときに

正麩糊を
 うすく塗ってから
 刷毛でドンドンと打ち付けて
 和紙同士の繊維を
 からませてくつつける



強い糊を塗って
ガツチリさせると
五十年百年して
また修復したいとき
剥がせんくなる

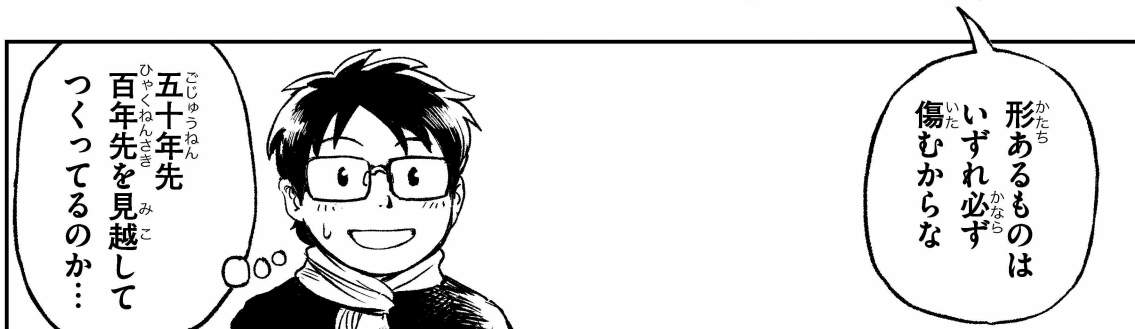
だから掛け軸なんかには
使う正麩糊は
歳で五年以上寝かせて
わざと粘着力を
弱らせたものを
つかうんや



そうすれば

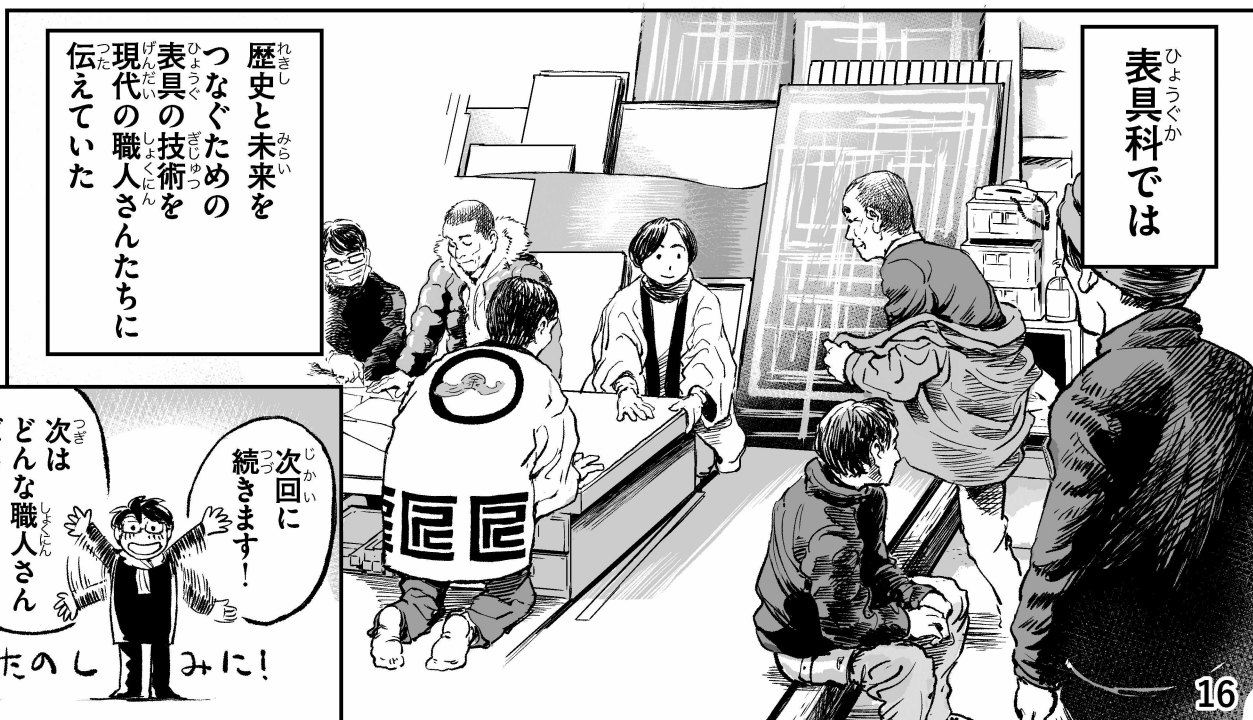
永遠に
とは言わんけど

大事な掛け軸を
できるだけ長く
引き継いでいけるやろ



形あるものは
いずれ必ず
傷むからな

五十年先
百年先を見越して
つくってるのか…



表具科では

歴史と未来を
つなぐための
表具の技術を
現代の職人さんたちに
伝えていた

次回に
続きます!

次は
どんな職人さん
だろうか?

おたのしみ!

金沢職人ばなし（大工科・左官科・表具科）

2023年4月10日発行

漫画家 坂上暁仁

発行 公益社団法人 金沢職人大学校

〒920-0046 石川県金沢市大和町1番1号

Tel 076-265-8311 Fax 076-225-8314

Webサイト <http://www.k-syokudai.jp/>

©金沢職人大学校2023 <禁無断複製>